

# 第1回 文京区基本構想推進区民協議会

日時：平成28年4月21日（木）  
18時30分～20時00分  
場所：文京シビックセンター24階  
区議会第1委員会室

文京区企画政策部企画課

第 1 回 文京区基本構想推進区民協議会 会議録

「委員」

会		長	大	杉	覚
副	会	長	平	田	京
委		員	牛	嶋	子
委		員	長	岡	大
委		員	浅	見	麗
委		員	石	倉	理
委		員	弘	世	毅
委		員	下	田	京
委		員	中	村	和
委		員	輪	座	雄
委		員	岡	田	雄
委		員	出	井	伴
委		員	上	田	久
委		員	小	野	武
委		員	岩	永	加
委		員	野	口	有
委		員	青	木	眞
委		員	飯	沼	和
委		員	加	藤	典
委		員	深	谷	佑
委		員	山	口	将
委		員	石	井	一
委		員	富	永	朋
委		員	椋	野	直
委		員	村	岡	公
委		員	村	田	公
委		員	渡	部	展
					大
					祐

「幹事」

企	画	政	策	部	長	吉	岡	利	行
総	務	部			長	渡	部	敏	明
危	機	管	理	室	長	八	木		茂

区 民 部 長	林 顕 一
アカデミー推進部長	田 中 芳 夫
福 祉 部 長	須 藤 直 子
子 ども 家 庭 部 長	椎 名 裕 治
保 健 衛 生 部 長	石 原 浩
都 市 計 画 部 長	中 島 均
土 木 部 長	中 村 賢 司
資 源 環 境 部 長	曳 地 由 紀 雄
施 設 管 理 部 長	松 井 良 泰
会 計 管 理 者	山 本 育 男
教 育 推 進 部 長	久 住 智 治
監 査 事 務 局 長	野 田 康 夫
区 議 会 事 務 局 長	佐 藤 正 子
企 画 政 策 部 企 画 課 長	加 藤 裕 一
企 画 政 策 部 政 策 研 究 担 当 課 長	高 鳥 康 広
企 画 政 策 部 財 政 課 長	大 川 秀 樹
企 画 政 策 部 広 報 課 長	境 野 詩 峰
総 務 部 総 務 課 長	石 嶋 大 介
総 務 部 職 員 課 長	辻 政 博

※「文京区基本構想推進区民協議会設置要綱」第7条に基づき、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科、源由理子教授が出席した。

○吉岡企画政策部長 皆様こんばんは。定刻を過ぎておりますので、ただいまから平成28年度第1回文京区基本構想推進区民協議会を開催したいと思います。

本日は、お忙しいところ、また、お足元のお悪い中ご出席をいただきましてありがとうございます。私は、企画政策部長の吉岡と申します。会長が選任されるまでの間、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、新しい委員を迎えての初めての区民協議会ですので、まず最初に、委員の委嘱を行いたいと思います。これから委員の皆様有成澤区長からお一人ずつ委嘱状をお渡しいたします。委員のお名前をお呼びいたしますので、自席にてご起立いただき、委嘱状をお受け取りになっていただきたいと存じます。

大杉覚様。

○成澤区長 委嘱状、大杉覚様。あなたを文京区基本構想推進区民協議会委員に委嘱します。文京区長、成澤廣修。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉岡企画政策部長 平田京子様。

○成澤区長 平田京子様。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉岡企画政策部長 牛嶋大様。

○成澤区長 牛嶋大様。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉岡企画政策部長 長岡麗奈様。

○成澤区長 長岡麗奈様。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉岡企画政策部長 浅見理絵様。

○成澤区長 浅見理絵様。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉岡企画政策部長 石倉毅典様。

○成澤区長 石倉毅典様。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉岡企画政策部長 弘世京子様。

○成澤区長 弘世京子様。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉岡企画政策部長 下田和恵様。

○成澤区長 下田和恵様。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉岡企画政策部長 中村雄介様。

○成澤区長 中村雄介様。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉岡企画政策部長 輪座峯雄様。

○成澤区長 輪座峯雄様。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉岡企画政策部長 岡田伴子様。

○成澤区長 岡田伴子様。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉岡企画政策部長 出井久之様。

○成澤区長 出井久之様。どうぞよろしくお願いいたします。

- 吉岡企画政策部長 上田武司様。
- 成澤区長 上田武司様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 小野寺加代子様。
- 成澤区長 小野寺加代子様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 岩永有礼様。
- 成澤区長 岩永有礼様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 野口眞寿様。
- 成澤区長 野口眞寿様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 青木和雄様。
- 成澤区長 青木和雄様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 飯沼典雄様。
- 成澤区長 飯沼典雄様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 加藤佑理様。
- 成澤区長 加藤佑理様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 深谷将平様。
- 成澤区長 深谷将平様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 山口一夫様。
- 成澤区長 山口一夫様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 石井朋佳様。
- 成澤区長 石井朋佳様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 富永直様。
- 成澤区長 富永直様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 棕野公様。
- 成澤区長 棕野公様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 村岡公一様。
- 成澤区長 村岡公一様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 村田展江様。
- 成澤区長 村田展江様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 渡部大祐様。
- 成澤区長 渡部大祐様。どうぞよろしく願いいたします。
- 吉岡企画政策部長 なお、本日ご欠席をされております前川哲也様につきましては、後日、事務局から委嘱状をお渡しいたしたいと存じます。

次に、本日は、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授の源由理子先生にご出席をいただいております。ご挨拶は後ほどいただきたいと存じます。

それでは、区民協議会の開会に当たりまして、成澤区長よりご挨拶を申し上げます。

**○成澤区長** 皆さんこんばんは。区長の成澤でございます。第1回の基本構想推進協議会ということでございます。委員の皆様方には、大変お忙しい中を委員のご就任にご快諾をいただきまして、心より感謝を申し上げます。

この協議会は、お手元の委員名簿で見ただけでもご案内のとおり、区内の様々な各団体、そして、一般公募の皆さん、そして、無作為抽出でお声掛けをして、それに応じていただいた皆さん、そして、大杉先生、平田先生という学識経験者の先生方を含めて、非常に多様な立場から委員の皆様方にご出席を、ご参加をいただいております。

この基本構想に基づく将来都市像の実現のために、この協議会が円滑に運営できますよう、そして、広範な意見を集約することができますように、皆様方のご協力をお願い申し上げたいと存じます。任期は2年ということでございます。

この現行の基本構想ですが、区の10年後の将来都市像を「歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち「文の京」」ということで、平成22年に基本構想実施計画の基となる基本構想を策定しております。それを3年間の実施計画をローリングする形で、具体的な事務事業に落としているという作業を行っております。本年、この協議会で行っていただきますのは、平成29年度、来年度からの3か年の実施計画を策定するという作業でございます。現在の区の財政の状況と、そして、区が置かれている状況を鑑みますと、右肩上がりの経済成長が続いている時代ではないし、加えて人口バランスが、これまで現状より、人口は将来に向けて微減、しばらく伸びてからその後、緩やかな下降のカーブを描くというふうな予測をされております。人口がほとんど変わらなくても、この区内にいらっしゃる区民の皆さんたちの人口バランスは大きく変化をしていくことが予測されます。いわゆる年少人口、そして生産人口が減少する中で、高齢者の人口が増えていくということが予想されるわけで、それだけで考えても、右肩上がり伸びていくことがない、経済成長が続くということがないということを前提にすると、生産人口が減るということは、区全体を支えていただく方たちが少なくなって、それによって様々な行政サービスを享受する方たちが増えるという形になります。そのことは、今までどおりの行政の運営をしていては成り立たなくなりますし、この3年間で急速にそれを解決するというものではありませんが、その将来課題をしっかりと見据えつつ、その方向性を皆様と一緒に議論をしていく、そんな場にもさせていただきたいと思っている次第でございます。

これまで行財政改革推進計画というのは、基本構想実施計画とは別に定めておりましたが、その会長は大杉先生にお願いをしてきたわけでありますけれども、今回、総合的な見地から事業を効果的・効率的に進めていくためにも実施計画を、その行革計画を包含する形でつくっていきたいと思っております。それは、将来の人口構成の変化等を見ても、行財政改革と実施計画づくりを連動させるほうがより効果的であるという判断のもとでございます。将来都市像の実現のために、限りある資源を最大限に活用しながら、めり張りのある事業執行の実現を示した計画にした

いというふうに考えているところでございます。

また、実施計画を策定後は、今年の1年間のその次の年、皆様の任期のうちの後半1年になりますが、それは、この計画事業が着実に進行されているかどうかの進行管理をこの協議会にお願いをすることとなっておりますので、次年度はそのような形でご協力をいただければというふうに思います。

また、オリンピックやパラリンピックに向ける取組など、そしてバリアフリー化の推進など、新たな将来課題に向けても、区政は的確な対応をしていかなければなりません。そのためには、区職員がこれまでと同様の考え方で仕事をしていては駄目だというふうに思っておりまして、品質志向の区政運営ということを私どもは申し上げていますが、改革志向の意識を区職員がしっかり持って、課題を自ら考え、自ら地域に入り、その中で区民の皆さんたちから気付きをいただく。そして、それを行政マンが誇りと矜持（きょうじ）にかけて政策を組み立てて、それを区民の皆さんとともに実施していくと、そういうような職員をつくり上げていかなければならないというふうに思っております。その意味では、人材育成にも中長期的な課題ではありますが、取り組んでいく必要性を感じております。

区内の人口構成も大きな変化があるというふうに申し上げましたが、実は、区の職員の構成にも大きな変化がございます。いわゆる団塊の世代の大量退職以降、ものすごく単純な言い方をして、この文京区の区の職員数1,700人ぐらい、これに非常勤等を入れると2,000人を超えますが、そのうちの、私が区長になってもう丸9年ですが、大体80人とか90人ずつ新しい人たちをとってきているんですね。それを換算すると、団塊の世代がごそっと抜けた後を含めて、この9年間で文京区の職員の半分以上の人たちは入れかわっているということです。つまり、当然、経験者採用もしていますから、年代には多少の差はあっても、経験年数10年未満の職員のほうが、それ以外の職員たちよりも多いというのが、この組織の実態であります。かつては、大所高所からいろいろな指導ができる、何というんですか、言葉は悪いですけど牢名主みたいな人たちも職員の中にはいて、いぶし銀の働きをするような人たちもいたわけですけれども、管理職は既にプレイングマネージャーとして自ら、野球で言えば監督と選手とコーチを共に兼ねなければならなくなってきているし、そういった忙しさの時間軸の中では、経験の浅い職員たちを共に全て引っ張り上げていくことが必ずしもできなくなっている。そういうことで、人材育成についても、今後喫緊の課題だろうというふうに感じておりまして、すぐに解決するものではありませんが、積極的にそれらについても取り組んでいく予定にしております。

また、品質志向の区政運営というのを目指しておりますが、その根幹となるオープンデータについて研究を重ねていく予定にしております。区内において根拠付けられた実効性のある取組を積極的に推進していきたいというふうに思います。皆様には、様々な観点からご意見をいただくこととなりますが、私どもが目指す新たな取組をぜひご理解をいただきまして、実りのある、そして的確な実施計画がつくれますよう、忌憚（きたん）のないご意見を賜りますことをお願い

申し上げて、冒頭のご挨拶にさせていただきます。どうぞ、これから2年間お世話になりますが、よろしく願いいたします。

**○吉岡企画政策部長** 区長、ありがとうございます。

それでは、これから区民協議会に入りたいと思います。まず、次第3の(1)にありますように、会長と副会長を一人ずつ選出いたします。文京区基本構想推進区民協議会設置要綱では、会長については、学識経験者のうちから委員が選出、副会長については、会長が指名することになっております。事務局といたしましては、会長につきましては首都大学東京大学院教授の大杉委員に就任をしていただきたいと思いますと考えております。委員の皆様、いかがでしょうか。

(拍手)

**○吉岡企画政策部長** それでは、会長は大杉委員に決定をさせていただきます。

恐れ入りますが、会長は会長席に移動していただきますようお願いいたします。

早速ではございますけれども、大杉先生からご挨拶をお願いいたしたいと思います。

**○大杉会長** 皆さんこんばんは。ただいま会長という大役を仰せつかりました大杉です。文京区との縁は、もうかれこれ十数年、20年近くなっております、そのとき、基本構想の策定というのに携わらせていただきまして、実は、その当時、区長がまだ議員をされていました。そのとき以来の盟友ということで、その後、区長になったら何か仕事を手伝うからと言ったのが、ちょっと運の尽きで、行財政改革区民協議会の会長をさせられたり、今回もまた、この基本構想推進区民協議会の会長ということで、最後の奉公のつもりで頑張らせていただきたいと思います。

今、区長のほうからも、かなり詳しく今回のこの会議、協議会での取組のミッションといえますか、についてもお話しされました。従来は、基本構想の策定であるとか、その実施計画の策定であるとか、その進行管理ということと、それから行財政改革推進計画についてを別々にやっております、私はその行財政改革のほうを主としてずっと携わらせていただきましたけれども、言ってみれば、これは積み木を積み重ねていって、区民にとってよりよいサービスをつくっていきこうという基本構想を初めとした総合計画策定という話と、その積み上げた積み木をもう一度崩すわけじゃないんですが、どんな積み上げ方をしているのか。もっといい積み上げ方はないか、そういったことに常にチェックを入れて考えていこう、それが行財政改革のほうの取組だと思えます。それぞれ、きちんと力を入れてやっていかなければいけないんですけれども、これまでそれぞれ別々にやっていたんですが、両方を合わせて、この基本構想の会議の中で一体として扱っていったほうが、よりよい取組ができるんじゃないかということで、今期からまたこうした形で統合するような形でさせていただくということになったわけです。

こうした取組をしていく中で、区長のほうにも最後言及していただきましたけれども、オープンデータ化という、恐らくあまり耳慣れない言葉かもしれませんが、一つの今後の、これからの行政の在り方の標準的な取組になっていく要素、こういったことも加味しながら進めていきたいと思えます。ちょうど今、何と申しますか、被害に遭われて大変な方々には、本当にお悔やみ申



し上げたいところですがけれども、熊本、大分で大地震がありますけれども、こちらの被災状況などについても、例えば、どういう場所に避難所があって、どういう場所に避難物資が届いてとか、そういったようなデータ、地理情報などがオープンデータ化されています。そういったことを、中にいらっしゃる方々が、さすがに被災されていて利用できないんですが、外にいて、今、現地には近づけないけれども、じゃあ、そうした、既に、例えば熊本市役所がオープンデータ化していたような情報を使って、あそこに避難所があるんだとか、あそこに避難物資を集めようとか、そういったようなものをどんどんつくって、フェイスブックとかSNSなどで拡散されていますね。被災直後からそうした情報が出ています。そうした、例えば、これは行政の中での話だけではなくて、一般の住民にも関わってくるところです。残念ながら、こういうオープンデータ化というのは、まだどこもが十分に取り組んでいる段階ではなくて、文京区もこれからというところかと思えます。

オープンデータ化というと何となく難しく思って、行政の人たちも、国は、ようやく今進んでいるんですが、自治体では、まだまだ十分に進んでいない状況です。文京区は、これまでも大変その最先端を行く取組をしてきておりまして、これまでずっとそうした、私も、ここで研究者として学ばせていただく機会を多くいただいたと思っています。今回、そうした取組なども加味しながら、皆さんの力もお借りして、といいますか、私のほうが、むしろご指導を受けるようなことも多いかもしれませんけれども、どうぞ、これからご協力いただきながら、この会議でいい区役所、いい区民サービスというものを、そして、いいこの文京区という地域というものをつくり上げていきたいなというふうに思っています。少しでも微力ながらも尽くしていきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**○吉岡企画政策部長** 大杉会長、ありがとうございます。

続きまして、副会長について大杉会長にご指名をいただきたいと存じます。大杉会長、よろしく願いいたします。

**○大杉会長** それでは、私は、先ほど申し上げたとおり、行財政改革区民協議会の会長を務めさせていただいたんですが、もう一方の、元々の基本構想推進区民協議会、そちらのほうで副会長をずっと務めておられました平田先生に、ぜひ副会長をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(拍手)

**○大杉会長** よろしく願いします。

**○吉岡企画政策部長** それでは、副会長は平田委員に決定をさせていただきます。平田委員は、移動のほうをよろしく願いいたします。

続きまして、平田副会長からご挨拶いただければと存じます。

**○平田副会長** 皆様こんばんは。副会長を務めさせていただきます、日本女子大学の平田と申します。よろしくお願いいたします。

今正に会長がおっしゃっていたように、熊本、大分の地震が発生しまして、私の専門は防災ですので、私のほうにもいろいろなテレビとかラジオとか取材が入るんですけども、そちらで今正に避難所の運営とか、それから、どのように被災者の心に寄り添っていくかというのが、すごくマスコミの方がおっしゃっているところです。それについて、取材にお答えするうちにすごく思いましたのは、皆様の日常が、文京区をどうやってつくるかの日常の営みが、非常時に生かされてくるということをすごく感じます。そのときにここの会議でどういうふうに文京区をつくっていくか、ここが本当に日々の営みが、私たちはあまりふだん感じていないんですが、それが、いざ非常時にも、そのときまでの人間のつながりだとか、それから、どんな準備をしておくかだとか、どんな訓練をしておくか、そういうものが非常時に生きてくることを痛感しております。ですので、是非、ここの場でどのような文京区にしていくか皆さんのお知恵を、特に今回の地震で感じますのは、いろんな方がSNSとかを通じてご意見を出されていて、それらが私もラジオに出演したときに、リスナーの方の意見が入ってきたりして、すごく双方向性を感じましたので、皆さんの一つ一つのご意見がこの会議をつくり、そして、何かあったときも助けになってくれると思いますので、ぜひ皆様の活発な意見をお願いいたします。私も、それを一緒に勉強させていただいて、ご一緒したいと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

**○吉岡企画政策部長** 平田副会長、どうもありがとうございました。

続きまして、委員の自己紹介に入りたいと存じます。各自30秒程度で、席順をお願いいたします。

まず初めに、牛嶋委員からお願いをいたします。マイクについては、お手元のボタンを押していただきまして、ご利用をお願いいたします。

**○牛嶋委員** 文京区認可保育園父母の会連絡会から参りました牛嶋と申します。前回の基本構想推進区民協議会の委員をさせていただきまして、今度継続で、あと2年務めさせていただきたいと思っております。

ちょうどそれで娘が今度、卒園ということになりますけれども、私は、仕事としては統計学者というものをやっております、オープンデータであるとか、データとか数字とかが大好きな人間ですので、またよろしくをお願いいたします。

**○吉岡企画政策部長** 続けて、長岡麗奈様、お願いいたします。

**○長岡委員** 長岡麗奈と申します。文京区立幼稚園PTA連合会から参りました。私は、自宅でせっけん教室などをやっております、家にこもることが多いんですが、いろんな意見をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

**○浅見委員** 浅見理絵と申します。文京区私立幼稚園PTA連合会から参りました。私は、下の子が年中で、上に小学3年と5年がいます、私はごく普通の主婦なんですが、何かお役に立てることがあればと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

**○石倉委員** 小学校PTA連合会の代表として参りました石倉毅典と申します。現在、公認会計

士をしております。前職は国家公務員をしております、国の長期計画、また、事業評価等々もやってきた経験がございます。昨今、地方公会計ということで、非常に総務省も進めておりますので、いろんな観点からご協力できればなと思っております。よろしくお願いいたします。

**○弘世委員** 弘世京子と申します。文京区立中学校PTA連合会から参りました。私は、大分県出身でして、実家も気になる場所ですけれども、余震が続きまして落ちつかない日々を過ごしておりますが、実家は幸い大丈夫ですけれども、知り合い、親戚等々、今、雨の中で苦しい思いをしているのかなと思いますと、本当に日常が非日常につながるというのを切に感じております。この場で何かお役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。

**○下田委員** 私は、下田和恵と申します。民生委員・児童委員協議会から出てまいりました。民生委員の守備範囲は、子どもから高齢者・障害者まで、また、防災のこともいろいろな点でお役目をいただいておりますので、これから民生委員としては、地域の皆様がどのようにしたら一番幸せに暮らせるかということをご考えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

**○中村委員** 中村雄介と申します。個人的に言うと、私の人生の72年間を文京区で暮らしております。この文京区にご恩返しをしたいと思っておりましたところ、図らずもこのような会にお招きいただいたことで、感謝しております。できるだけ積極的な意見を、皆さんのお話を伺いながら述べさせていただきたいと思っております。時に、区民であると同時に、ここで拝見すると障害者の団体では私一人のようですので、障害者の立場からも発言させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

**○輪座委員** 文京区高齢者クラブ連合会の輪座と申します。幾らか年をとっているだけ経験があるので、お役に立てば発言させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

**○岡田委員** 文京区女性団体連絡会から参りました岡田伴子です。男女平等センターで女性の地位向上と性別にかかわらず誰もが生き生きと暮らせる男女平等社会を目指して活動しております。よろしくお願いいたします。

**○出井委員** 出井久之でございます。文京区商工会議所から派遣をされまして、委員を務めさせていただきます。今回で3年目ということで、文京区には3歳から住んでおまして、ちょっと、まだ地下鉄が通らないというようなときから、テレビも、ラジオしかないという時代に生まれまして、この近代的な技術が発展しているということで、オープンデータというものも、また勉強したいなと思っております。何しろ財政で少しは協力できるのではないかと考えております。よろしくお願いいたします。

**○上田委員** 文京区商店街連合会から推薦で入りました上田武司と申します。現在、区商連の副会長を務めております。副会長というか、副理事長ですね。理事長は、白山上の上本というのが務めております。商店街は、今、かなり不況の状態なんですよ。特に個店のお店が、今、廃業するのがかなり増えてきていまして、経営がなかなか難しくなっていると。その問題としては、

やっぱりチェーン店とか大手のコンビニとか、そういうところがあるんじゃないかと。それに対して何らかの施策がこの辺でとれるならいいなということで、これからも皆さん方と相談しながら進めていきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**○小野寺委員** 文京区町会連合会の推薦で来ました小野寺と申します。よろしくお願いいたします。私も40年ぐらい働いておまして、いつも男性ばかりの社会にいました。今は町会連合会、ほとんど女性は私一人かなという。町会長としては、多分、文京区に3人はいらっしゃいますでしょうか。だけれども、文京区の町会連合会には女一人で、何かいつも女がただ一人みたいなどころに生きていたんですが、ここへ来たら非常にたくさんの女性がいらっしゃるので、何かすごくうれしいです。よろしくお願いいたします。

**○岩永委員** こんばんは。15番、岩永有礼と申します。文京区労働組合協議会から来ました。前回は大杉先生のもとで行財政改革推進区民協議会で参加しておりましたが、今回は基本構想推進区民協議会に関わるようになりましたので、どうかよろしくお願いいたします。

**○野口委員** 東京青年会議所文京区委員会より参りました野口と申します。我々青年会議所のほうでも、今回、熊本、大分での地震の際に、現地の青年会議所と連携をとりながら支援をしているというところがございます。また、日々、明るい豊かな社会の実現を目指して、東京青年会議所として活動しております。

また、本業は弁護士をしておまして、こちらでも、もろもろ社会貢献といったものに興味がございます。今回こうした役を仰せつかることとなりました。精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

**○青木委員** 公募委員の青木と申します。前回にも公募で参加しました。私は生まれも育ちも文京区の次の年に生まれた人間で、今も住んでおります。もう定年退職したもので、それまでは、もう本当に民間で予算管理とか、それから構造改革とか全部やってきた人間です。それで、終わってみて、住んでいる文京区が何をやっているのかなって全然わからなかったもので、前回参加しました。2年間やってみて、ああ、こういうことをやっているんだなとわかって、これから3年間何をやるのかなという、一応、私、いろいろな経験をしていますので、何か役立てることがあるんじゃないかと思って参加しました。よろしくお願いいたします。

**○飯沼委員** 私も、一般公募の飯沼典雄と申します。生まれも育ちも文京区の千石です。それから、36年、小石川にある製薬メーカーに勤めておまして、そこで新薬の開発、特に骨粗しょう症の研究をしてまいりました。それで、今年3月に60歳の定年退職を迎えまして、それまで外国、国内を含めて飛び回っておまして、全くこの区のことについては関知していなかったということで、今年定年になりましたので、これからは区のお仕事等に少しでもご協力させていただければと思い、応募しました。今までの経験とか、ここで皆様方と知り合った、そういうことを大切に、今後ここをついの住みかとして決めておりますので、協力していきたい、ご指導いただきたいと思っております。まず、そういう意味では1年生、初めになりますので、今後ともよろしくお

願いをいたします。

○加藤委員 加藤佑理と申します。昨年よりこちらに越してきました。今、9か月の娘がおります。来週から仕事に復帰なので、ちょっと大変になるかなとは思いつつ、ただ、これから文京区に長く住んでいく予定ですので、この3年間こういったものが身近になってくるのか関心を持って、こちらに公募で応募させていただきました。微力ながらもお役に立てればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○深谷委員 皆さんこんばんは。生まれも育ちも文京区ではない深谷将平と申します。ただ、人生の半分をこの文京区で過ごさせていただきまして、ほとんどが目白台とか、今の後楽といった外れのほうにいつも住んでおりまして、なかなか文京区というよりは千代田区とか新宿区、豊島区の行政を見るが多かったんですけれども、今回一般公募で委員をさせていただくことになりました。ふだんは道路の掃除とか交通誘導ぐらいしかできませんが、この場でまた何か区のお役に立てればと思いますので、よろしくお願いいたします。

○山口委員 山口一夫と申します。私のご先祖が千駄木の団子坂に引っ越してきたのが、明治維新の前でして、私も、もちろん、生まれも育ちも団子坂でございます。そういう面で、私を育てくれた文京区のために少しでもお役に立てればと思っております。5年前まで国家公務員をしております、退職して今は東京家庭裁判所で家事調停委員をやっております。どうぞよろしくお願いいたします。

○石井委員 石井朋佳と申します。21年前に文京区に越してまいりまして、PTA等に携わらせていただいたときもありましたけれども、今は娘と主人と私の両親と、80代後半になりますけれども住んでおりまして、2回越しましたが、文京区内で探しまして、文京区にこれからも長く住んでいきたいというふうに思っているところです。ふだん、くじ運が悪くて何も当たらないのにもかかわらず、おはがきをいただき、もう、お醤油（しょうゆ）しか当たったことがなかったんですけれども、今回おはがきをいただき、思い切って公募というか面接に来させていただきました。大変緊張する面接だったんですが、今日はこのような素晴らしい方たちとご一緒なんだというふうに、改めて緊張しておりますけれども、戦力にはならないかもしれませんが、少しでもお役に立てればというふうに思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

○富永委員 富永直と申します。生まれは品川区ですが、小学校に入る少し前から福島県会津の喜多方に疎開しました。戦災で家は焼け、戻ってまいりましたのが、道灌山下の近くの駒込林町、今の千駄木で、そこで区立の中学校、都立高校にお世話になりました。当時私は、デザインという仕事に興味があり、デザインの勉強をして、卒業後は日立製作所の宣伝部で、宣伝とかPRの仕事に10年ほど関わってまいりました。ちょうど日本が高度成長に差し掛かっている時代で、オリンピックもあり、大阪万博もあったときで、大変充実した時間を過ごすことが出来、その間一年間ミラノに行っておりました。その後、結婚して主人の勤務の関係でパリ、ニューヨークにも行っておりましたので、海外の人々の様々な暮らしぶりを垣間見た経験など、何かの形で少しで

も大好きな文京区にお役に立てるようなことが出来たら嬉しく思います。

この10年ほどは、上野の東京芸大の中に仲間の人たちと「芸大アートプラザ」を立ち上げ、芸術と社会との連携を考える企画や事業の運営に関わってまいりました。10年経ち、大学の改築の時期を迎えて今は休業中です。

どうぞよろしく願いいたします。

**○椋野委員** 椋野と申します。私も大分県日田市出身なのですが、高校を卒業して東洋大学という大学に夜学で入学しまして、神田で4年間新聞配達をしたときに、たまたま新聞配達の寮が神田は住めないということで、本郷に住んでそのままです。それで、大学のその後の就職も文京区の企業で、その会社をやめた後もまた文京区の企業で、結婚してみたら奥さんは文京区出身で、義父母も今、文京区に住んでおります。このままずっと文京区に住みたいなと思いますし、また、いつもお世話になっている文京区に多少でもご恩返しできたらなと思い、この度委員に選出していただいたんじゃないかなと思っております。多少でもご恩返しできればと思っております。よろしく願いいたします。

**○村岡委員** 村岡と申します。私は、約10年ほど文京区に住んでおります。仕事としては、IT関連の運用とか開発とかといったところをしております。今回無作為抽出ということで、実際にこの行政に携わったことというのは、ほぼないんですが、文京区にお世話になっておりますので、幅広い世代の方々のご意見とかをお聞きして、お役にできるかわかりませんが、一般的なサラリーマンというか、そういった視点から建設的な意見等をできればと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

**○村田委員** 村田展江と申します。今回、無作為選出ということで、参加させて頂きました。文京区には18年程住んでいます。日頃からお世話になっている文京区に一区民として、何か少しでもご恩返しできればと思っております。よろしく願いします。

**○渡部委員** こんばんは。渡部大祐と申します。ふだんは日立製作所の人事部門で働いております。応募した動機ですが、1歳の息子がおりまして、無事今年の4月に認可保育園に入れさせていただきました。同じタイミングだったので申し込みました。落ちていたら、多分申し込んでいなかったです。文京区、ありがとうございます。以上です。

**○吉岡企画政策部長** 委員の皆様、ありがとうございました。

続きまして、源先生からご挨拶をお願いできればと思います。源先生は、「政策評価」や「協働とガバナンス」等を専門に研究されており、今後検討を予定しております「新たな行政評価の仕組み」を構築する際にご協力をいただきたいと思いますと考えております。源先生、よろしく願いいたします。

**○源教授** ただいまご紹介にあずかりました、明治大学の源です。よろしく願いいたします。そちらの政策施策評価部会というのが、この協議会の下にあるということで、そちらのメンバーにということでご指名をいただきました。皆さんがつくられる計画を進行管理していくというこ

とは、言いかえれば計画を見直して、またよくしていくということでした。それが評価でございまして、評価という言葉はあまり、子どもは好きじゃないんですけれども、実は見直すということは、直接計画に結び付くというふうに考えております。そういった形で関わらせていただくことになりました。本日はオブザーバーとして参加させていただいております。

あと、個人的には、文京区に住んでおまして、と申し上げても、皆さんのように文京区に生まれ育ったわけではなくて、一昨年引っ越してまいりまして、文京区区民に晴れてなりました。皆さんのいろいろな意気込みを伺うにつれ、私も一区民としてこれに関わらせていただくことができまして、大変うれしく思います。今後ともよろしくお願いいたします。

**○吉岡企画政策部長** 源先生、ありがとうございました。

それでは、ここからの進行につきましては、大杉会長に引き続きしていただきたいと思います。大杉会長、どうぞよろしく願いをいたします。

**○大杉会長** 今、皆さんのご挨拶を聞いておまして、生まれたときからずっとという方もいらっしゃるれば、比較的最近越してこられた方もいらっしゃいますけれども、皆さん、本当に文京区のことを心から愛して、ある意味でのプライドを持たれているなということがわかりました。これから正にこういうメンバーで、いい文京区をどうしたら実現できるのかということで、一緒に議論していければというふうに思っております。

それでは、まず、今日は初日ということでもありますが、既に最初のほうにも、ちょっとご案内ありましたけれども、まず最初に、確認という意味で委員の出欠状況、それから配付資料につきまして事務局からの説明をお願いします。

**○加藤企画課長** まず、委員の出欠状況ですが、前川委員から欠席のご連絡をいただいております。

また、幹事の出欠の状況ですが、田中アカデミー推進部長が遅れて出席する予定でございます。

続きまして、席上配付の資料について確認させていただきます。まず、差し替えの資料としまして、委員名簿がございます。また、本日追加の資料として4点ございます。1枚目が、参考と書いてあります進行管理スケジュール案、2枚目が、分野別部会希望調査票、3点目が電子メールアドレス登録のご案内、それと座席表になっております。

また、席上には、冊子が置いてございます。三つほど置いてございますが、基本構想、こちらの薄いものですが、こちらは、10年間の計画ということで文京区基本構想、また、その基本構想の実施計画、それと薄いものですが、行財政改革推進計画、こちらを席上に置かせていただいております。

また、事前に次第と資料第1号から資料第5号までを送らせていただいております。本日お持ちでないようであれば、挙手していただければ事務局のほうでご用意いたしますので、挙手をお願いします。大丈夫でしょうか。よろしいでしょうか。

では、会長。

○大杉会長 いいですか。マイクの使用方法は大丈夫ですか。

○加藤企画課長 もう一回確認で。先ほど冒頭でマイクの使用方法について説明がございましたが、確認の意味でもう一度ご説明させていただきます。こちら発言するときには、真ん中のボタン、既に使っていただいておりますけれども、こちらのほうを押していただいで発言をお願いします。そうしますと、ボタンのところと、この頭のところですが、マイクのところには赤いランプがつきますので、その方が発言されているという形になります。ただ、これを消し忘れまして、三つ赤いのがつくと、三つ目のところが発言できなくなってしまいますので、その点についてはご留意いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○大杉会長 司会進行をする関係で、私は、ずっとつけておりますけれども、その辺はちょっとご容赦いただきたいと思っておりますけれども。

続きましては、幹事の皆さんの紹介を事務局のほうからお願いします。

○加藤企画課長 それでは、私のほうから幹事の紹介をしたいと思います。

読み上げられた幹事につきましては、この場で起立して名前のほうをお願いしたいと思います。まず初めに、吉岡企画政策部長でございます。

○吉岡企画政策部長 企画政策部長の吉岡でございます。よろしく願いいたします。

○加藤企画課長 渡部総務部長でございます。

○渡部総務部長 渡部でございます。よろしく願いいたします。

○加藤企画課長 八木危機管理室長でございます。

○八木危機管理室長 八木でございます。よろしく願いいたします。

○加藤企画課長 林区民部長でございます。

○林区民部長 林でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○加藤企画課長 須藤福祉部長でございます。

○須藤福祉部長 福祉部長の須藤です。どうぞよろしく願いいたします。

○加藤企画課長 椎名子ども家庭部長でございます。

○椎名子ども家庭部長 椎名でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○加藤企画課長 石原保健衛生部長でございます。

○石原保健衛生部長 石原です。よろしく願いいたします。

○加藤企画課長 中島都市計画部長でございます。

○中島都市計画部長 中島でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○加藤企画課長 中村土木部長でございます。

○中村土木部長 中村でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○加藤企画課長 曳地源環境部長でございます。

○曳地資源環境部長 曳地です。どうぞよろしく願いいたします。

○加藤企画課長 松井施設管理部長でございます。



- 松井施設管理部長 松井でございます。よろしくお願いいたします。
- 加藤企画課長 山本会計管理者でございます。
- 山本会計管理者 山本でございます。よろしくお願いいたします。
- 加藤企画課長 久住教育推進部長でございます。
- 久住教育推進部長 久住でございます。よろしくお願いいたします。
- 加藤企画課長 野田監査事務局長でございます。
- 野田監査事務局長 野田です。よろしくお願いいたします。
- 加藤企画課長 佐藤区議会事務局長でございます。
- 佐藤区議会事務局長 佐藤です。よろしくお願いいたします。
- 加藤企画課長 高鳥政策研究担当課長でございます。
- 高鳥政策研究担当課長 高鳥です。よろしくお願いいたします。
- 加藤企画課長 大川財政課長でございます。
- 大川財政課長 大川です。よろしくお願いいたします。
- 加藤企画課長 境野広報課長でございます。
- 境野広報課長 境野です。よろしくお願いいたします。
- 加藤企画課長 石嶋総務課長です。
- 石嶋総務課長 石嶋です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 加藤企画課長 辻職員課長でございます。
- 辻職員課長 辻でございます。よろしくお願いいたします。
- 加藤企画課長 遅れましたけれども、私は、企画課長の加藤と言います。どうぞよろしくお願いいたします。
- 大杉会長 ありがとうございます。

では、次に、区民協議会の運営等につきまして、事務局から説明をお願いします。

- 加藤企画課長 それでは、座って説明させていただきます。
- 大杉会長 はい、どうぞ。
- 加藤企画課長 資料第3号になります。こちらの運営について、主な箇所を説明させていただきます。

まず、1の協議会等の公開でございます。原則として会議を公開とし、区民等に会議の傍聴を認め、会議記録を公表いたします。

次に、裏のページ、記録の取扱いについてでございます。7のところでは、記録につきましては、発言者名を記載した全文記録方式といたします。記録の作成に当たりましては、出席した委員全員の方の確認をとります。会議の終了後速やかに未定稿の案文を作成し、その後、確認手続を経て、おおむね2か月以内に公表を予定しております。公表につきましては、このシビックセンターの2階の行政情報センター、また、区のホームページで掲載する予定でございます。

最後に8のところ、代理出席についてです。団体推薦による区民委員につきましては、やむを得ない事情があり、区民協議会に出席できないときにつきましては、あらかじめの届出により、代理出席を認めることとするものでございます。

説明については以上です。

○大杉会長 ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、何かご質問などございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ないようでしたら、次に、次第の4、文京区基本構想実施計画等について、事務局からご説明をお願いします。

○加藤企画課長 資料第4号に基づきまして、基本構想実施計画についてご説明させていただきます。よろしいでしょうか。

文京区では、基本構想を策定して、10年後の将来都市像「歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち『文の京』」の実現を目指しております。その3か年ごとの計画である基本構想実施計画を策定し、計画事業に取り組んでいるところでございます。

また、先ほどご挨拶の中でもありましたが、行財政運営について、行財政改革推進計画を策定して、その基本的取組を具体化してまいりました。

具体的なイメージとして、下のところに図がありますので、こちらをご覧ください。

まず、基本構想、これが行政計画の最上位の計画ということで、平成23年～32年の10年間の計画になっております。現在ですと、二つの計画がその下にありまして、一つ目が、左側の基本構想実施計画になります。こちらは、具体的な事務事業を表しているものでございます。

計画期間は、今期につきましては、26年度から28年度までの3年間という計画になっております。現行の基本構想においては2回目の実施計画となります。

また、それと整合を持たせる形で、行財政改革推進計画を設けております。こちらは基盤の整備ということで、施設とか、職員とか、そういったようなこの基本構想を実現するための基盤整備に関するものを計画しているものでございます。

こちらは、5年間の計画になっております。24年度から28年度までの5年間でございます。期間は違いますが、基本構想実施計画、行財政改革推進計画は共に、本年度、28年度をもって終了となりますので、次期の計画として下にある新たな計画ということで、29年度から31年度までの3年間の計画を策定する予定でございます。こちらにつきましては、先ほどもご紹介がございましたけれども、行財政改革推進計画を包含する計画として、具体的な事務事業を示すという計画でございます。

次に、実施計画の概要についてご説明させていただきます。計画は、大きく四つの分野でできております。こちらにありますアの子育て・教育から、イ、ウ、エのこの四つの分野でございませう。こちらを分野ごとに、今後3年間の方向性、あるいは進行管理をする主な指標、こういったものを検討していただきまして、今期の基本構想実施計画の中に、計画として盛り込む予定でござい

ざいます。

資料第4号の説明については、以上でございます。

**○大杉会長** ありがとうございます。ただいまご説明にありましたとおり、四つの分野ごとに今後3か年の方向性や進行管理をする主な指標、こういったことを審議すると。その審議に当たって、文京区基本構想推進区民協議会設置要綱第8条に基づきまして、専門部会ということで分野別の部会を設置していきたいというふうに思っています。今日お集まりいただいて、かなり広目の部屋に委員の方々が相当たくさんいらして、これで議論などできるんだろうかと思われたかもしれません。個々具体的なことに関しては、もう少し部会を設けて、そこでより密に議論を進めていきたいと思えます。私としては、こうした20世紀型の古いタイプの大がかりな会議形式は、今日と、あと最後1回やるぐらいでいいのかなと思えます。途中に関しては、仮に皆さん一堂に集まっていたく機会であっても、きちんと実質的な議論ができるような場にしていきたいというふうに考えておりますので、また、その点もよろしくお願ひしたいと思えますし、それから、専門部会のほうにつきましても、人数を絞るということももちろんあるんですが、人数を絞るのは何のためかという、きちんとその委員の間で議論をしていただくことでもあります。この後、またちょっと、ご説明があるかと思えますけれども、皆さんが一番その関心を持ち、ここではこういうことを言いたいという場に出て、いろいろな意見を言ってもらいやすいような、最近よくワークショップなんていうような形で、いろいろな方々の意見を聞くようなこと、企業などでも取り入れられたり、地域などでも取り入れられたりしています。そういうタイプの運営をしていきたいというふうに、今、考えているところで、これは皆さんともまたご相談しながら、考えていきたいというふうに思っています。

今までのところでの事務局の説明につきまして、何かご質問ございますでしょうか。また何かお気づきのことがあれば、元のほうに戻って、さっきのところ、実はということがあれば、またお尋ねいただいても構いませんので、先に進ませていただきたいと思えます。

次に、文京区基本構想推進区民協議会における審議についてということで、事務局から説明をお願いします。

**○加藤企画課長** それでは、資料第5号をご覧ください。こちらが、今回区民協議会、こちらの委員会で審議していただく内容の概要になっております。大きく2点ございます。1点目が、(1)のところがございます新たな計画の策定でございます。もう1点が、(2)のところの計画の進行管理でございます。

まず、新たな計画の策定ですが、こちらの会議体で計画案について審議していただきまして、また、先ほどございましたように、分野ごとにより深く議論をしていただくために、分野別の部会を設置したいと考えております。部会につきましては、四つの部会を設置いたします。また、各部会での審議の結果をこちらの親会、区民協議会にフィードバックしながら進めていきたいと考えております。

2点目の計画の進行管理になります。こちらは、28年度、今年度と来年度の進行管理になります。まず、28年度の進行管理ですけれども、こちらは現行の計画、26年度から28年度までの計画、こちらの進行管理について審議いたします。審議するに当たりましては、昨年度、27年度の実績について評価するという形で審議を進めたいと考えております。

また、来年度、29年度ですが、本年度策定しました新たな基本構想実施計画、こちらの進行管理について審議をいたします。新たな計画のうち、28年度の実績のある事業を評価する予定でございます。

下のところに検討体制のイメージが書いております。また、その下のところに米印がございますが、本年度新たな基本構想実施計画の策定に合わせまして、新しく評価のスキームを構築したいと考えております。やり方としましては、本年度、政策・施策評価部会を設置いたしまして、区と学識経験者、源先生等とスキームについて検討、また、試行を行いたいと思っております。

29年度以降につきましては、区が実施する評価の結果を一旦その政策・施策評価部会において審議していただきまして、その結果をこちらの区民協議会にフィードバックする形で審議をしたいと考えております。

また、参考資料として、本日席上に置かせていただきました進行管理スケジュール（案）について、説明させていただきたいと思っております。

左側が区民協議会、こちらの協議会でのスケジュールになります。右側は庁内での会議体ということで、左側を中心に説明させていただきます。まず、4月第1回ということで、本日21日の区民協議会になります。6月に第2回目、基本的な考え方、また、次の丸の後ろに勉強会と書いてありますが、こちらにつきましては、第2回前後で勉強会のほうを開催したいと考えております。その後、続きまして、分野別部会を開催したいと考えております。この中では、27年度の現行の評価、それと新たな計画の指標について検討していただきたいと考えております。

また、8月に3回目、こちらは行財政分野について、新しい計画の検討を考えております。9月ですけれども、こちらは、評価結果についてのパブリックコメントということで、7月に評価していただいた現行の計画についてのパブリックコメントをしたいと思っております。現行のうち前年度、27年度分についてパブリックコメントを9月に予定しております。また、10月上旬に、実施計画の素案ということで、分野ごとに4回目、5回目の検討会を予定しております。また、行財政分野について素案を6回目に検討したいと思っております。

それらの検討を踏まえまして、素案についてパブリックコメントをかけたいと思っております。また、これから調整になりますが、4回程度の区民説明会、あるいは区報特集号で特集を組みまして、区民の方からご意見をいただけるような形を考えております。あわせて、ホームページのほうでもパブリックコメントをやりたいと考えております。それらの結果を反映しまして、第7回ということでこちらのほうで案をつくり、協議会のほうで検討していただきまして、最終的には年度内に計画をつくる予定でございます。

先ほど、会長のほうからワークショップ等のお話がありました。これはあくまで現在での案という、4月時点の案という形になりますので、また、適宜よりよい形で見直す形で、おおむねこういうようなスケジュールということでご理解いただければと思っております。

説明は以上です。

**○大杉会長** ありがとうございます。ただいまのご説明につきまして、ご質問などございますでしょうか。今のご説明を聞いて、すぐ全部わかったという方は、ちょっとおかしいと思ったほうがいいです。わからないほうが普通だと思います。これから先、進めていく中で少しずつなじんでいてもらいたいと思いますが、とはいえ、ここで聞いておかなければいけないこと、これは、ちょっとやっぱり聞いておきたいなということは、是非遠慮なくお尋ねいただければと思いますが、いかがでしょうか。

**○出井委員** すみません、よろしいですか。7月に分野別部会が計4回と書いてあるんですけど、これはどういうふうにやるんですか。

**○大杉会長** 今のところの事務局案をまずちょっと答えていただけますか。

**○加藤企画課長** 本日、分野別部会希望調査票というものを置かせていただいておりますが、これが一番わかりやすいと思います。

**○大杉会長** こういう紙があるかと思っておりますので。こちらの説明も、ついでにしましょうか。

**○加藤企画課長** それでは、こちらの説明も併せてさせていただきます。今のご質問にお答えしたいと思っております。

こちらの分野別部会ですけれども、四つの部会を予定しております。部会は、具体的には子育て・教育、福祉・健康、コミュニティ・産業・文化、まちづくり・環境、こちらの四つの分野になります。こちらは、基本構想の分野が四つの分野に分かれております。区のやっている事業は、かなり広範でございます。それを四つの分野に大きく分けて、基本構想のほうはつくっております。その四つの分野ごとに分科会を設けて検討するものでございます。

こちらの希望票ですが、下の票の右側の「ご記入欄」というところに、一つ以上の丸を付けていただきまして、ご希望があったものについては、基本的には全て参加していただくという形で考えております。この調査票につきましては、5月9日月曜日までに郵送、ファクス、メール等でお送りいただければと思っております。

以上でございます。

**○中村委員** 中村と申します。よろしいですか。

**○大杉会長** はい。どうぞ。

**○中村委員** この分野別部会のときに、私は先ほど申し上げたように、障害者ですから当然2番目の欄にチェックしようと思っておりました。しかし、よく考えてみると、障害者問題というのは、必ずしもこの福祉だけでは済まない、むしろ、例えば、上にある教育の問題も当然絡んでくるかと思っております。そういう場合、私のような者は、当然、障害者の問題を考えると同時に、教育

の在り方についても考えさせていただきたいと思っております。

さらに言えば、3番目の文化というのですか、こういうことにも当然関わってくるのだと思います。そんなことを考えますと、どれにも関わらなくちゃいけないのかなと思いますが、せめて1番目と2番目ぐらいはかかわらないと、本当の意味での生き生きした文京区になり得ないんじゃないかというのが私の考えなので、ちょっと、ご意見を伺いたいと思います。

以上です。

**○大杉会長** ありがとうございます。先ほどのご説明にもあったかと思いますが、希望を付けていただくんですけども、複数につけていただき、かつ、複数の部会に参加していただくことをできるようにしたいと思っております。ただ、どうしても計画というのをつくるときに、行政の分野別に、縦割というと悪く聞こえるかもしれませんが、行政がきちんと仕事を進めていく上で、組織上も、やっぱりその縦割の組織づくりになっており、仕事の分類の仕方もそういう分野ごとということになろうかと思っておりますので、ここではそういうまとめ方をさせていただいています。当然、複数にまたがって関心を持たれる、あるいは、ある今の、例えば、障害ということを考える上では、一つのところには、やっぱり完結しないと思うんですよね。

そういうことから、複数の分野にご出席いただくことを可能にしたいということで、こちらのほうでその希望を出していただくというふうにしたいと思っております。

**○中村委員** どうもありがとうございます。

**○大杉会長** はい。今回こういうような形にさせていただいたのも、ちょっと、初めてですので皆さんのご関心がよくわからないということがありまして、どこでもいいという方もいらっしゃるかもしれませんが、いや、これじゃなきゃ自分は嫌だとおっしゃる方もいらっしゃるかもしれません。時間の都合がつく限り幾つか出てみたいという方もいらっしゃるでしょうし、なるべく皆さんのご希望をかなえたいということで、こうした形にさせていただいております。よろしいでしょうか。

**○中村委員** はい。ありがとうございます。

**○大杉会長** 最初の出井委員ですか、ご質問がありましたけれども、今のところ、この分野別部会というのを、計4回と書いてあるのは、これは各部会1回ずつの4回という意味ですよね。

**○加藤企画課長** そうです。

**○大杉会長** 果たして1回で終われるかと。私は、ちょっと無理ではないかなと思っていて、ただ、そうは言っても、そう何回も、10回も20回もやるわけにもいかないというのと、今回は、既に基本構想があり、既に前の期の実施計画もある中で、組み換えていくというようなことが多くなってくると思います。全く真っさらなところから、ちょっと計画をつくるというのとはまた違うということは、少し押さえておいていただきたいんですけども、かといって、1回で本当にできるのかということがあります。複数回にわたってやらなければいけないことは、ちょっと今のうちから言っておいたほうが、私はいんじゃないかというのと、その場合に、どうぞ、

お好きなおところへ幾らでも入ってくださいといったときに、全部こなし切れなくなるといけないので、そこはバランスをとっていただく。やっぱり一番自分はここはしっかり出るというところと、場合によっては、最初は申し込まなかったですが、オブザーバー的に話は聞きに行きたいということで参加されるようなことがあってもいいんじゃないかなと思います。ここは、ちょっと事務局のほうと調整しなきゃいけないんですけども、場所の問題とか、そういうこともございますので、でも、なるべく皆さんの意欲が、非常に高くお持ちのようですので、そのご希望をかなえられるような進め方を考えていきたいと思っています。

ほかに何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

**○山口委員** 今のご説明ですけれど、基本的には、希望がかなえられるということを考えておられるのでしょうか。例えば、四つを丸したならば、その四つについては、希望はかなえられる。三つをつけたら、その三つについてはかなえられるというのが原則になっているのかどうか、ちょっと確認したいということと、それから、例えば、4回予定されていますが、もし四つ、委員になった場合、最低でも16回ですか。

**○大杉会長** 今のところはそうじゃないんです。各部会1回ずつの計4回というふうになっています。

**○山口委員** 各1回ずつですね、わかりました。その希望は、基本的にはかなえられるのかどうかだけ、お願いします。

**○大杉会長** 今のところ、事務局の考えというようなところで。

**○加藤企画課長** こちらのほうについては、丸をつけていただいたところには、全て出席していただくということで、希望をかなえられるということになります。ただ、例えば、特定の分野が、全く希望がなかった場合には、その分野も大切なところがありますので、その場合は個別に調整をして、希望はかなえた上で、ここ、どうですかというお声掛けが、もしかしたら必要になるかもしれませんが、希望は基本的にはかなえるということで考えております。

**○山口委員** わかりました。ありがとうございます。

**○大杉会長** 皆さんから、ちょっと希望を出していただいて、全体の状況をちょっと見ないと、どなたも選ばない部会があるとは思わないんですけども、やっぱり、どうしても一人とか二人ぐらいになってしまうと、ちょっとこれはどうかなということがありますので、そうしたときには、少しまた事務局のほうからお声掛けをさせていただくということも出てくるかもしれません。少々、私は人数が多くなったとしても、先ほどワークショップみたいなというふうに言いましたが、幾つかのテーブルに分かれて、そこでまた議論してもらい、更に大きく、またまとめていただく。部会は決定の場ではありませんので、どんな議論があったかはまとめていただくにしても、最終的には、こちらの親会が協議会としての決定の場になっていくと考えておりますので、そういうような形で進めさせていただければと思っています。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○上田委員 結局、お話を伺っていると、分野別部会というのは、この一番重要だと言われているのが、今年度は1回しかやらないということですね。

○大杉会長 そこはまだ1回とはわかりません。今のところはそういうことを計画しているということですね。

○上田委員 このスケジュール表を見ますと、一応、7月の上旬から下旬の間に分野別部会を計4回、ということは、ここにある一つずつを1回ずつやると。あとは、全体会議ということになるわけですか。

○大杉会長 先ほど私から申し上げたのは、事務局案は1回になっているけれども、到底1回では無理じゃないでしょうかということですね。

○上田委員 そうですね。私も思うんですけれども、だけれども、一応、基本的には1回ということで予定を組んでいるわけですね。

○大杉会長 はい。

○上田委員 そういうふうに認識していいわけですね。その後、ちょっと時間が、ほかに問題が起きたからもう一回やるとか、3回ぐらいやるとかという話は、また別の話として、一応スケジュール、予定としては1回だけ。

○大杉会長 そうですね。

○上田委員 特に7月の1か月間に、分野別部会を一つずつ、1回ずつやると、そう理解してよろしいですね。

○大杉会長 はい。

○上田委員 はい。わかりました。

○大杉会長 何と申しますかね、非常に熱心に何回もやりたいといっても、皆さんもお忙しいでしょうから、そう回数を増やすというわけにもいかないということも出てこようかと思えます。ですから、この委員に皆さん就かれたということで、ある意味で義務というの、ちょっと言葉としてあれですけれども、1回はきちんと、やっぱり参加していただくのが前提になってこようかと思えます。ただ、その1回にとどまらない場合、回数としては増えていくこともあり得るということです。よろしいでしょうか。

ほかはよろしいですか。

○出井委員 すみません。よろしいですか。ちょっと、予定を早目にお知らせいただかないと、なかなか出られないと思うんですね、希望したところに。ですから、分野別に4日、日程をとるのか、それとも、これを1回で4分野やるのか、そういう点のところをある程度教えておいていただかないと、ちょっと日程的に出られないということもできるかもしれないので。

○大杉会長 日程については、私自身も、最低2か月前以上に決めないと予定が立てられませんので、私が部会のほうをどういうふうに入れるかということも、ちょっとまだ、これは調整中ではあるんですが、日程については、なるべく早く決めたいと思います。



あと、例えば、そうですね。規則性を持たせて、曜日であるとか、何かそういうもので少し、この曜日の何時から何時というような形で、ちょっと空けておいてくださいというふうにお願ひさせていただくということもあるかもしれません。そこも、ちょっと工夫をさせていただきなきゃいけないところかと思ひます。

ほかによろしいでしょうか。ちょっと、従来とは違ひ進め方をしていて、まだ事務局のほうでもまとまっていない部分が、かなりござひます。そういったことをちょっとこれから詰めなければいけないということがあって、少々ご迷惑をおかけするところがあって申し訳ないんですけども、なるべく早く決めさせていただきたいと思ひます。先ほどの全体のスケジュールの中で、今回は、こちらの参考のスケジュール案の4月21日の第1回ということですが、6月下旬に第2回ということを目ざさせていたひているわけでは。ちょっとこれを第2回にするかどうかは別として、もう一つ、これは強調しておきたいのは、私は、こういう会議を開いたときには、皆さんの先ほどお話を聞いていて、かなり何と申ひますか、こういう、行政のことについてお詳しい方もいらっしやれば、あるいは、マネジメントについて詳しいというような方々もいらっしやれば、そういったことにあまりかかわりなくお仕事されているとか、ふだん暮らされているという方も少なからずいらっしやるかと思ひます。

なるべくこうしたときに、やっぱり、基本的な共有しなければいけない知識というのは、持つておきなきゃいけないと思ひていまして、私は、必ず、こういう会議とは別に、いわゆる、勉強会というのを設けさせていただこうかと思ひています。その勉強会では、もう少し詳しく基本構想や実施計画のことについてであるとか、先ほども出しましたオープンデータのことに関してであるとか、今回のこの協議会全体に関わるような事柄について、ここだけはまず押さえておいていただきたいなというところを、何と申ひますかね、皆さんと一緒に学ぶというような場をつくらせていただきたいというふうに思ひています。

これを会議の場でそのままやってしまうと、それだけ時間をとってしまうので、勉強会ということで、そこはもう自分はわかっているという方は、あるいは、ご都合がつかないという方は、ちょっと参加されなくても構わないんですけども、なるべく参加していただひて、皆さんで情報、知識を共有していきたいなというふうにも思ひています。これも、もう2か月後ぐらいにはやりたいと思ひているんですが、ちょうど6月、7月ぐらいと申ひますと、区役所のほうも、いろいろ議会とかそういう日程の関係もござひまして、少々、この日程も今、考えているところというところで、近いうちに必ずご連絡をさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。よろしいでしょうか。

○出井委員 もう1個、質問していいですかね。

○大杉会長 はい。どうぞ。どんどん、どうぞ。

○出井委員 10月の4回、5回のところの実施計画素案の4分野前半・後半というのは、どういう意味なんでしょうか。

○大杉会長 事務局お願いします。

○加藤企画課長 こちらは、検討していただいて素案ができた段階で、四つの分野の二つずつ、どういう組合せになるかは、まだ決まっておりませんが、四つの分野の二つずつを4回で二つ、5回で二つということで、具体的な素案について、二分野を検討していただく予定でございます。

○大杉会長 ここも、大体この時期に、そういう素案をきちんと考えなきゃいけないという目安として考えていただければと思います。2分野ずつ2回でやるのか、もったきちっと決まっていれば、その前の段階で決まっていれば1回でできることか、ちょっとまだ、やってみないとわからないところでもあります。ただ、大体これぐらい、2回ぐらいかけないと、かなり膨大な領域にわたりますので、時間的にはこれぐらいとっておく必要があるだろう、そして、この時期にやらないと、後々、回していけないという意味合いで示させていただいているということだと思います。

よろしいでしょうか。ため息をつかれてますけれども、まだ始まったところですので。

それでは、次第の5ですね。その他につきまして、事務局からの説明をお願いいたします。

○加藤企画課長 その前に、今スケジュールのことでいろいろお話しいただきました。いただいたご意見を踏まえまして、なるだけ早目に日程のほうを調整、また、勉強会を含めてどういう形で進めていくかということについては、会長などと十分に検討させていただきたいと思います。ありがとうございました。

また、先ほど幹事の紹介をしたんですが、遅れて田中アカデミー推進部長が来ましたので、お名前をお願いします。

○田中アカデミー推進部長 田中です。よろしくお願ひいたします。

○加藤企画課長 それでは、その他ということで、何点かご説明させていただきます。

まず、1点目が、第2回、次回ですが、6月下旬を予定しております。これは先ほども何回もございましたけれども、どういう形でやるかということについては会長と十分詰めさせていただきますが、おおむね目安としては、次の回は6月下旬ということで予定しております。

それと、本日、もう1枚席上にペーパーを置かせていただいております。「電子メールアドレス登録のご案内」というものになっております。こちらは区民協議会に関する通知等、電子メールを活用したいと考えておりますので、電子メールアドレスのご登録を希望される場合については、登録をお願いいたします。あくまで任意でございますが、登録してもいいという方についてはお願いしたいと考えております。

説明については以上になります。

○大杉会長 ただいまのご説明につきまして、何かご質問ございますでしょうか。よろしいですか。

どうぞ、はい。

○牛嶋委員 保育園父母の会連絡会の牛嶋です。この電子メールで、何か事前の資料がメールで

来たりということはあるのでしょうか。前回、子ども・子育て会議とかはメールで資料が来たりしていたんですけども、基本構想推進区民協議会に関しては、あまりそういうのはなかったと思うんですが、今回の方針をちょっと教えていただきたいと思います。

○加藤企画課長 こちらは、1の(1)のところの米印の2のところにありますように、配付の資料については郵送を予定しております。

○牛嶋委員 じゃあ、メールでは基本的には来ないということよろしいですか。

○加藤企画課長 はい。郵送という形を考えております。

○牛嶋委員 はい。ありがとうございます。

○大杉会長 今のご質問では、例えば、PDFとかワードみたいな、そういうもので資料を受け取ったほうが、見やすいとか、何かそういうようなご希望があるということでしょうか。

○牛嶋委員 団体として来ているので、やっぱり、その関係する人にも見てもらったり、そこで若干、なかなか大きくはできませんけれども、やっぱり何人かの人にもちょっと意見を聞いたりとか、そういったことが事前にできるといいかなと思うんですけども。

○大杉会長 ご希望があれば、別に送ることはできますよね。

○加藤企画課長 そうですね。そういうことであれば送ることはできますので、ご希望していただければ対応させていただきます。

○牛嶋委員 わかりました。ありがとうございます。

○大杉会長 ただ、かなり大部の資料であるとか、そういうものについても出てくるかもしれませんが、電子ファイルでやれば、逆にそのほうが問題がないということもあるかもしれませんので、あくまでこれ、ご希望で事務局で申し出ていただければ、そういう電子ファイルでもお送りさせていただけるという形でいいですかね。よろしいでしょうかね。

○牛嶋委員 取扱注意とか、そういうのもあるかと思うんですけども、その辺は、もし何か覚書等があったら、そういうのをやってもらって構いません。

○大杉会長 ここで使われる資料は、基本的にはホームページなどに後日掲載されることとなりますので、取扱注意であるとか、そういうものがあるとするれば、そこは注意した上でお送りしないとか、お送りしたとしても、これは気を付けてくださいとか、そういうことになろうかと思いますが、大体それで対応できますね。

○加藤企画課長 そういう形で言ういただければ、メールの中でも対応できますので。

○大杉会長 ほかにいかがでしょうか。何かございますか。よろしいですか。

特にないようでしたら、何か忘れていないことはないですね。事務局のほうも大丈夫でしょうか。

○加藤企画課長 一つだけご連絡があります。本日の資料は、基本的には持って帰っていただきたいと思いますが、持ち帰れない場合は、席上に置いていただければと思います。

○大杉会長 今回は初回ということで、何と申しますか、ガイダンス的なお話が中心になってしまいましたけれども、次回以降は具体的な中身に入っていきたいと思います。非常にいいメンバ

一がそろったなというふうに思っていますので、私も楽しみにしております。次回以降、またどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。今日は、どうもありがとうございました。